

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



今年も10月1日から、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。

赤い羽根共同募金運動は、1947年(昭和22年)に第1回目の運動が実施されて以来、長い歴史とともに歩んできました。皆さんの温かいご理解とご協力にささえられ、今年で80回目という節目の年を迎えます。

お寄せいただいた募金は、大野地域の福祉活動に活用されます。地域の誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、赤い羽根共同募金へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



大野地域の令和7年度共同募金額は

5,121,204 円 でした。

皆様のご協力ありがとうございました。

ありがとう



大野地域での募金の使いみち



- 高齢者の福祉のために
 - ・地域のサロン活動
 - ・認知症高齢者等支援
- 障がい児・者の福祉のために
 - ・障がいのある子どもを育てる家族のおしゃべり会
 - ・精神保健福祉ボランティア養成講座の開催
- 住民全体の福祉のために
 - ・地区環境美化推進活動
 - ・地区給食サービス活動
 - ・ボランティア活動への支援
 - ・福祉ふれあいまつりなど
- 児童・青少年の福祉のために
 - ・ボランティア学園
 - ・小・中学校での福祉教育(介護学習や地域貢献活動など)



10月4日「大野福祉ふれあいまつり」に、赤い羽根共同募金の特設ブースを設置します！募金にご協力いただいた皆さんに、募金額に応じてカープコラボグッズをお渡しします！ぜひ特設ブースへお立ち寄りください！

八十周年

ありがとう。これからも一緒に。



自分力アップ応援プログラム ～認知症について学びました～

9月9日、大野東市民センターで「認知症サポーター養成講座」を開催し、10人が参加されました。

市社協職員から「認知症の人の理解と支え合い」について説明した後、地域包括支援センターの松島さん、田中さんより、クイズを交えながら「認知症の人との接し方」について学びました。また、「廿日市市認知症ケアパス」についても説明していただき、認知症について相談できる窓口や、地域で利用できるさまざまな支援・社会資源があることを知りました。



この症状は…物忘れ？認知症？

参加者からは、「地域で認知症の方がおられたら、積極的に声をかけたい」「認知症も病状の一つとして受け入れ、その人らしさを大切にしたい」「温かく見守っていききたい」といった声が聞かれました。

認知症について正しく知り、支援につながる方法を知ることが、地域でのささえあいにつながる大切な一歩となりました。



認知症の支援の道のりをイラストでわかりやすく説明



「取れた～!」の聲がいっぱい！ レクグッス「流しソーメン」で大盛り上がり！

8月22日大野第11区松ヶ原こども館前広場にて、「のびあそクラブ」が開催されました。

「のびあそクラブ」は、地域の自然を生かしたさまざまなイベントを企画しているサロンで、多くの親子が集う地域の交流の場となっています。

今回は夏のイベントとして、市社協のレクリエーショングッズ「流しソーメン」を活用。お菓子やおもちゃ、果物などを流し、子どもたちは流れてくる品物を見ながら、自分の好きなものを選んで取る楽しさを体験しました。広場には子どもたちの笑顔と歓声があふれ、夏ならではのにぎやかなひとときとなりました。

地域のサロン活動や交流行事などで使えるレクリエーショングッズの貸し出しを行っています！お気軽にお問い合わせください！

上手にとれるかな？

ぼくもとれた～!

やったー！とれたよ!



ふれあい相談所

「相談員」が生活上の悩み事や困りごと・介護の悩み等をお聞きし、相談に乗るとともに必要に応じて相談機関などを紹介します。

心配ごと相談

毎週 木曜日

場所：大野支所3階 時間：13時～16時

【10月】1・8・15・29日

※22日(大野東市民センター)

【11月】5・12・19日

※26日(大野東市民センター)

【12月】3・10・17日

※24日(大野東市民センター)

※大野東市民センターでは来所相談のみ

認知症介護相談

第4 火曜日

【10月】27日

【11月】24日

【12月】22日



相談
無料

予約
不要

秘密
厳守

電話やファックスによる相談も受け付けています。
お気軽にご相談ください。

大野支所 3階 TEL 55-3294 FAX 55-3275



ご寄付をいただきました

温かいご寄付をいただき、心より感謝申し上げます。大野地域の福祉事業に活用させていただきます。(6月11日～9月10日受付分)

【一般寄付】

匿名 1件 (大野地域の福祉向上のために)

匿名 3件 (障がい児の手助けのために)

匿名 1件 (社会福祉のために)